

表5 急性胆嚢炎重症度判定

Grade I	軽症	Grade II、Grade IIIの基準を満たさない急性胆嚢炎
Grade II	中等症	臓器障害には陥っていないが、その危険性があり、重篤な局所合併症を伴い、速やかに胆嚢摘出術や胆嚢ドレナージを行われるべき状態
Grade III	重症	臓器障害による全身症状をきたし、呼吸・循環管理などの集中治療を要する急性胆嚢炎。原則として、緊急胆嚢摘出術やドレナージを施行しなければ生命に危機を及ぼす急性胆嚢炎